

ことばの教室学習指導案

指導者 柚原 香津子

1 対象児童 A児（第3学年 男）

2 児童の実態

本児は、正しく発音できない音がある（・カ行音→タ行音 ・ガ行音→ダ行音 ・ラ行音とダ行音の混乱 ・シ→スイ、チ→ツイ、ジ→ズィ に置換。拗音促音等の表記が苦手。）という主訴で、2年生6月より通級している。やや幼い感じのある、ゲームの好きな、よく話す男の子である。

本児は、2年生4月に転校してきた。それまでに、施設（作業療法、行動療法、言語療法中心の施設）でSTより指導を受けている。入級時は、単語や音読、会話で誤った発音で話していた。

相談時の母親の話から、本児は文字を書くのが苦手な毎日の学校の宿題にとっても時間がかかること（特に漢字）、本児自身も文字を書くことへの苦手意識があり、そのことによる困り感が強いことがわかった。担任からは、学習も遅れがちで特に国語の漢字を苦手としている、という話があった。そこで、ことばの教室に来た時は、「はじめに宿題をやり、それからことばの勉強をする。」ことにして通級が始まった。

現在、カ行音、ガ行音の発音は改善された。ラ行音とダ行音については単音節では正しく発音することができるが、会話では混乱している。文字と音との一致が難しいので無意味音節の文字を見て読むこと、聞いた音と文字とを一致させることを中心に指導をしている。文字の表記については、正しい筆順で書くことを第一として宿題の漢字練習等に取り組んでいる。画数が多くなっているため、一文字の中で部首やつくりの位置や、一画目の書きはじめの位置を示し、一マスの中に文字が入るように書くことを目標に練習している。

3 学習内容について

(1) これまでの経過と指導の見直し

本児は指導時間を2コマとり、前半は宿題、後半はことばの練習としている。宿題は漢字の練習が多く、本児の苦手とするところなので前半だけでは終わらないこともあるが、「ことばの教室に来た日は、宿題は終わらせて帰り、家に帰ったら遊べる。」というのを励みに取り組んできた。

音づくりは、カの音からはじめた。舌先を押さえても正しく「か」の音を発音できなかったため、口を大きくあけることから始め、「んーあ」「んーが」から「んーか」で「か」の音を導いた。「か」の単音節が出せるようになると、「か」の連続音、五十音と組み合わせるの無意味音節、単語でも正しく発音できるようになった。「か」の音が会話でも正しく出せるようになった頃、他のカ行音の指導にとりかかった。単音節、単語レベルまでは時間はあまりかからなかった。その頃、算数でかけざん九九を学習していたので、九九を正しい音で言うことをめあてに練習した。カ行音ガ行音が短文、会話

でも正しく発音できるようになってきたので、ラ行音とダ行音の指導にとりかかった。まず、「ラ」と「ダ」の発音について指導者が手本を見せたり構音位置を図や模型、手の動き等で明示したりして視覚的に捉えさせるようにした。それから「ラ」と「ダ」、「レ」と「デ」、「ロ」と「ド」での異同弁別や正誤弁別をした。ラ行ダ行混合の3音節の無意味単語（だらら、らだら、だらだ など）では、正しく聞きとることができず、書き取ることもできていない。

文字の表記は、筆順に合わせて教師が「たて、よこ、よこ」などと声を出しそれに合わせて書いたり、自分でも言いながら書いたりしている。また、画の折れが曲線になってしまうので、折れる時には「カクン」と声かけをしている。「文字を書くことが面倒くさい。」とされていて、一画をゆっくり書くことができない。

2月、保護者からの依頼により発達検査を実施した。

3年生になって、ラ行音ダ行音の単音節は出せるが、混乱が見られたので、『でたらめことば』（無意味音節）で練習してきた。3音節ではラ行音のみ、ラ行音ダ行音の混合ともに正しく読むことができるが、4音節になるとラ行音だけでも読み間違えがある。カードに書いてある音節（文字）を見て読んだり、聞こえた音節をカードから探してとったりする活動をしながら、ラ行音とダ行音の文字と音節との一致を目ざしている。ラ行音ダ行音それぞれの音の構音位置を「べろが、ちょん」「べろが、べた」と言葉や動作で確認しながら練習している。ふだんから目にしたり耳にしたりしている単語では、ラ行音ダ行音が混ざっていても正しく書くことができるものもある。今後は、ラ行音ダ行音の単語や短文を正しく読んだり書いたりできるようにし、シ、チ、ジの練習へと進めたい。

文字の表記については、マスの中に文字が収まることを目指していきたい。さらに拗促音の正しい読み、書きを身につけさせたい。学年が大きくなるにつれて時間的にも通級することが難しくなるので、なるべく早いうちに身につけさせ、終了をめざしていきたい。

(2) 指導計画

長期目標 (自己の目標)	(1) 正しい発音の仕方を身につけ、日常会話でも自然に正しい発音ができる。 (2) 正しい筆順で、マスの中に文字を正しく書くことができる。			
短期目標 (後期)	・ラ行音とダ行音の単語や短文を正しく読んだり書いたりすることができる。 ・文字の形を思い浮かべ、一画めの書き出しの位置を考えて書くことができる。			
期間	指導経過（開始時より）及び指導計画			
	口づくり	耳づくり	音づくり	文字の表記
H24. 6月 7月 9月	口や舌の動きがスムーズになり、言葉全体が明	正誤弁別力を育てる 「カ」と「タ」の弁別	「カ」の基本練習 k、んーあ、んーが んーか 「か」と五十音との無意味	正しい筆順で書く 

10月	<p>瞭になるまで継続して行う。</p> <p>口のたいそう</p>		音節		
11月			「か」の単語		
12月			「か」のマッチゲーム		
H25. 1月				「か」の短文練習	
		2月		かけ算九九を言う練習	
				ガ行音の短文練習	
				〈WISC-III の検査〉	画の折れに注意する
			「ラ」と「ダ」	ラ行音とダ行音の練習	
3月			「レ」と「デ」	単音、単語の練習	
4月			「ロ」と「ド」	ラレロのマッチゲーム	
			の弁別	ダデドのマッチゲーム	一マスの中の文字の場所を考える
5月			ラ行音ダ行音の単語の聴写		
6月		ラ行ダ行の無意味音節	ラ行ダ行の3音の無意味音節を読む		
7月		(3音)の聴写	ラ行ダ行の4音の無意味音節を読む		
		無意味音節4音の聴写	無意味音節を聞いて、カードをとる		
9月			ラ行の単語		
10月(本時)					
11月			ダ行の単語		
			短文、音読練習		
			会話での定着		
		拗音の弁別	拗音、促音の練習	拗音促音の表記	
			単音節、単語		
			短文、音読練習		
			「シ」「チ」「ジ」の練習		
			単音節、無意味音節		
			単語、短文、音読練習		
			会話での定着		

4 本時の指導

(1) 目標

- ・正しい筆順で、マスの中に漢字を書くことができる。
- ・ラ行の単語を正しい発音で読むことができる。

(2) 展開

学習活動と内容	教師の支援 (○) と評価 (◇)	資料等
<p>1 今日の学習を確認する。</p> <p>2 学級での宿題をする。 ・漢字ノートに書く</p>	<p>○本時の学習内容の見通しをもたせる。 ○時間の予定も知らせ、目安にさせる。</p> <p>○正しい筆順で書けるように文字の筆順に合わせて、「たて、よこ」などの声をかける。 ○マスの中に、一画目の書き始めを点で示したり、部首やつくりの位置がわかるように点線で区切ったりする。 ○マスの中の文字の配置に気をつけさせる。</p> <p>◇正しい筆順で漢字を書くことができたか</p>	<p>国語ドリル 漢字ノート</p>
<p>ラ行の単語を正しく読もう。</p>		
<p>3 口のたいそうをする。 ・口を大きく開ける ・舌先で口唇、口角をさわる ・スポット ・あらあら、あれあれ あろあろ ・あだあだ、えでえで おどおど など</p>	<p>○正しい姿勢で取り組むように声をかけ、注意を促す。 ○一つ一つ丁寧に行わせる。 ○舌の脱力をし、舌の動きをよくする。 ○顎がしっかり開いているかどうか確かめながら行うように声かけをする。 ○舌先がスポットについているか、鏡を見ながら取り組むなど、構音位置を確かめながら行うように助言する。</p>	
<p>4 『でたらめことば』で練習する。 ・ラ行の4音(られろれ、あらおろ、おらおら、など)のでたらめことばを読む。 ・でたらめことばのカード</p>	<p>○カードを見ながらゆっくり読むように声かけをする。</p> <p>◇正しく読むことができたか ○最後の音まで聞いてからとるように約</p>	<p>でたらめことばのカード</p>

<p>とりをする。(4音)</p> <p>5 ラ行音を含む有意味単語を読む。 ・語頭 ・語尾 ・語中 カード選びをする。 ・聞いた単語が正しく綴られたカードを選ぶ。</p> <p>6 ラ行音を含む単語練習をする。 ビンゴゲームをする。 ・カードをひいて、書いてある単語を読む ・自分のマトリックスシートの中に同じ単語があったらカードを裏返す。 ・先にビンゴした方が勝ち</p> <p>7 まとめをする。 ・今日の学習について振り返り、次回の練習について確認する。</p>	<p>束してから始める。 ○とったカードは、ゆっくり確かめながら読むように助言する。</p> <p>○文字を見てゆっくり読ませるようにし、正しく読めたときは賞賛し、読み間違えたときは気付かせるような声かけをして児童自らが言い直しできるようにする。</p> <p>○選んだカードをもう一度読み、正しいかどうか自己評価させる。 ○間違えたカードを選んだ時は正しいカードと見比べて確かめさせる。</p> <p>○ビンゴゲームを楽しみながら、(目先を変えて)単語の発音練習ができるようにする。 ○文字を見て正しく発音したり、聞こえた単語を自分のマトリックスシートの中から選んだりすることで、習熟をはかる。 ○はっきりと読むように声をかける。</p> <p>◇正しく発音することができたか。</p> <p>○今日のがんばりを認め、次回への意欲につなげる。</p>	<p>単語カード</p> <p>ビンゴカード マトリックスシート</p>
---	--	---